

令和6年度 事業計画

1. 事業方針

当地域においては、少子高齢化が急速に進み、今後ますます人手不足の解消や現役世代を下支えするために高齢者の活躍が求められています。しかし、高齢者等の雇用の安定等に関する法律が改正され、定年延長や70歳までの就業機会確保を企業に求めており、新入会員の確保が益々困難な状況となっています。加えて、既存会員の高齢化に伴って退会する会員が増加しており、会員数が減少傾向となっております。また、消費税のインボイス制度やフリーランス法の制定等、新たな制度への対応など、シルバー事業を取り巻く情勢は一段と厳しい状況が予想されます。

当センターの粗入会率は約6%と県下でも高い方ではありますが、会員確保は今後も取り組まなければならない最重要課題です。事業面では請負による就業を基本としてきましたが、「適正就業ガイドライン」のもと、請負・委任業務になじまない業務を派遣事業へと転換を進めており、シルバーを取り巻く環境も大きく変化しています。

人生100年時代を見据え、今後も高齢者がこれまでに培ってきた経験、知識、能力を活かし就業を通じ、生きがいを持って社会に貢献できるよう、また、地域社会を支える担い手として、更には地域のニーズに応えるため積極的に事業を展開していかねばならない状況となっています。

事業実績は新型コロナの影響でここ数年減少傾向となっておりますが、ウイズコロナの時代となり、本年度は少しでも回復するように就業開拓に取り組むと共にデジタル技術を活用し業務運営の効率化・簡素化を図り、目標達成と地域活性化のため前進することとします。なお、本年秋にはフリーランス法が施行される予定であり、シルバー事業も益々デジタル化を推進し、安定したセンター運営を目指すこととします。

また、会員の安全確保は最重要課題であり、「安全は全てに優先する」を基本に「事故ゼロ」を目指して、全会員・役職員が一丸となって事故撲滅に向けて取り組みを行います。

シルバーの基本理念「自主・自立、共働・共助」により、「希望と活力と魅力あふれる」地域づくりを推進するため、以下の重点目標を定め事業を積極的に展開します。

<重点目標>

1. 安全就業を基本に「危険ゼロ」及び「事故ゼロ」を目指し適正就業に努める
2. 広報・普及啓発活動の充実と強化に努める
3. 基盤拡大(会員拡大、就業拡大)と会員の資質の向上に努める
4. 組織体制の活性化と強化に努める
5. 派遣事業の推進に努める
6. シルバー事業のデジタル化になお一層努める
7. 健全な財政運営と事務局体制の整備に努める

2. 事業実施計画

(1) 安全・適正就業推進事業

事故撲滅のためには、「危険ゼロ」が最も重要であることから、就業前には必ずミーティングを実施し安全意識への徹底を図る。また、「安全は全てに優先する」を基本として安全・適正就業に努める。

5年度は6件の損害事故と2件の傷害事故が発生した。目標は「事故ゼロ」である。事故は一寸した気の緩みから起きる事故がほとんどです。ヒヤリ・ハットの段階で対処していくことが必要です。一人ひとりが安全意識と細心の注意により就業を行うことが基本です。6年度においても組織を挙げて重篤事故はもとより、全ての事故の撲滅を図らなければならない。

- ① 安全・適正就業研修会の開催
- ② 作業別安全・適正就業基準の徹底
- ③ 安全・適正就業の積極的な呼びかけ
- ④ 安全パトロールの実施
- ⑤ 作業前の安全ミーティング実施の徹底（安全確認シート）
- ⑥ 部会の開催
- ⑦ 「標語」の募集を行い優秀作品の表彰

(2) 広報・普及啓発活動事業

広報活動は、シルバー事業の内容について、広く地域社会にPRするとともに、会員の拡大及び就業開拓について、あらゆる機会を通じて広報活動と普及啓発を行う。特に65歳定年制延長、更に70歳までの雇用延長等企業も人手不足を見込み精通している者の雇用を確保している。このため60代前半層の会員確保が非常に難しくなっており、今後は会員確保に重点を置き啓発活動を活発に展開していく。

また、デジタル社会の到来を踏まえ、会員及び発注者など利用者が親しみやすいホームページにするとともに、内容の充実・更新等を行い普及啓発活動を図る。

- ① 地区役員の下(地区代表、各班長)、啓蒙活動を活発に実施する
- ② 普及啓発促進月間(10月)を中心に、諸事業を積極的に推進する
シルバーフェアー、地区ごと独自のボランティア活動等の実施
- ③ 町村広報誌、チラシ、ホームページ等による広報活動
- ④ 会員1人が1会員を増やす啓蒙活動を行う
- ⑤ 広報誌、チラシ、研修等を通し会員の資質の向上を図る
- ⑥ 広報誌(シルバーだより)の充実を図り、年2回以上発行する
- ⑦ 部会の開催
- ⑧ あらゆる広報媒体の活用

(3) 事業の拡大と就業開拓事業

財政基盤の強化拡大のため、会員拡大及び就業拡大に取り組みます。また、地域社会のニーズに応えるため、各種事業を検討し実施します。

会員確保は重要課題であります、会員拡大(特に女性会員)を行い、高齢者が地域社会で活躍できる場を創出する事業を実施していきます。また、会員の公平な就業及び就業率向上を目指します。基盤拡大と強化のためには、会員の確保はもちろん就業機会の開拓と確保が必要不可欠であるため、積極的に新規事業の開拓を推進し、更に派遣事業については請負からの切り替え及び新規事業の就業開拓に努めます。

- ① 地域の隅々まで就業開拓に力を入れる
- ② 公共関係の受注を更に充実・拡大する
- ③ 会員の「ロコミ運動」(一会員一仕事の開拓)
- ④ 各地区、役員は率先して就業開拓に努める
- ⑤ 地域班、職群班と情報を密にして就業開拓を推進する
- ⑥ 閑散期(冬期間)の就業開拓を行う
- ⑦ 未就業会員対策の検討
- ⑧ 各種講習会実施の検討
- ⑨ 独自事業導入の検討

(4) 組織の活性化と会員相互の連絡強化

「自主・自立、共働・共助」による事業の運営を図り、共に支え合い協力し組織の強化に努める。特に地域班、職群班、専門部会(安全・普及啓発・女性・総務)それぞれの充実と強化に努める。

- ① 専門部会組織の活性化とシルバー組織の強化を図る
- ② 地区組織と各部会との連絡協調を図り地域社会の活性化を支える

- ③ 各部会の活動の活性化を図るとともに連絡、協力体制を強化する
- ④ ボランティア活動等の実施（普及啓発部会と連携）
（各地区特色ある計画を地区代表の下、企画実行する）
- ⑤ 総会等出席義務行事への参加率の向上に努める
- ⑥ 親睦会活動を支援し会員の交流と福祉の向上に努める
- ⑦ 部会の開催
- ⑧ 地区懇談会を開催し、多くの会員の意見を聞き組織の強化に努める

(5) 女性部の活動強化と推進

近年女性会員の就業依頼が増加し、一人の会員が重複して就業しているケースが多々あり要望に応えることができず発注者には大変迷惑をかけています。これからもこの状況は続くことが予想され女性会員の確保と増強が必要不可欠であります。女性会員を増やす対策をあらゆる角度から検討し女性でなければできない業務やセンターの魅力、活動等を紹介し地域の要望に応え、また会員の確保に努める。

- ① 施設訪問等の実施(各所ボランティア活動)
- ② 独自事業の検討（女性特有の事業）
- ③ 地区ボランティア活動への参加協力
- ④ 各種行事、研修会、講習会等への積極的参加
- ⑤ 女性会員交流会の実施
- ⑥ 部会の開催

(6) 健全な財政運営

新型コロナ以降、契約額が減少傾向となっていましたが、昨年度より回復基調となりました。しかし、インボイス制度の導入や新たなフリーランス法の施行が予定され、センターの事業運営は複雑、多様化しており益々厳しい状況となって行く事が予想されます。今後はウイズコロナの時代を見据え、事業費の回復を図るために就業拡大に努め、経費を必要最小限に切り詰め、引き続き健全な財政運営に努めます。